



節分の日の集いを行いました



2025.2.3（月）経堂保育園

今年は2月2日が「節分」でした。昨日は豆まきをしたり、お豆や恵方巻きを食べて過ごしたご家庭もあるかと思います。経堂保育園では、本日「節分の日の集い」を行いました。いにしえより「季節の変わり目は邪気が入りやすい」と考えられていました。2月上旬はまだ寒く、体調を崩しやすいことから、新年を迎えるにあたって、邪気を祓い清め、一年間の無病息災を祈る行事として継承されています。旧暦で新しい年を迎えるこの時期、立春の前日が「節分」と呼ばれています。立春の日には地球と太陽の位置関係により変わるため、今年は2月3日が立春、前日の2日が「節分」となりました。

どうして豆まきをするの？

悪いもの（鬼）を追い払い、良いもの（福）を呼び込むために豆まきをします。大豆にはたくさんの栄養が含まれていて、鬼を追い出すパワーが詰まっています。また、豆を炒るのは、「火を通して芽が出ないようにする」、「悪いものに芽が育たないようにする」為だそうです。そのような意味を持つ炒った豆を、鬼（悪いもの）に投げて追い払うのです。

どうしてひいらぎいわしを飾るの？

トゲトゲして触ると痛い葉っぱ“ひいらぎ”に、焼くと臭いにおいのするイワシの頭を差したものがひいらぎイワシ。これを玄関先に飾ると、痛い葉っぱと臭いにおいで鬼（悪いもの）が家に入って来ないように「魔除け」の意味で飾るそうです。



会では、節分にまつわる劇を見て、「まめまき」「おにのばんつ」「おにはうちでひきうけた」の歌を楽しみました。

おにが嫌いなものって
ななに？

「おまめ！」

「ひいらぎいわし！！」



「おにはーそとー」
「ふくはーうちー」

みんなのところに鬼（悪いもの）が来ないように、きりん組が買ってきてくれたひいらぎにイワシの頭をつけて、門と正面玄関に飾りました。お昼ごはんには、焼いたイワシを食べました。みんなが、今年も元気に健やかに暮らせますように、福が訪れますように…と願いを込めて。

